武蔵野市立境南小学校　授業改善推進プラン

学びに向かう力（学習の進め方）について
―「学びに向かう力等に関する意識調査」（フォームでの実施）、令和８年度 全国学力学習状況調査（児童・生徒質問紙）の結果より ―

	児童・生徒の実態について （〇長所　●課題）	学びに向かう力を育むための 目標及び具体的な取組について （教科等の取組や特色ある教育活動）<実施期間８月～２月>	取組結果や分析等（◇成果　◆課題） <振り返り期間：１～２月>	令和９年度 教育課程 関連項目
【粘り強く進めること】 ＜関連項目＞ 学びに向かう力等に関する意識調査 調査票４（１）～（４） 令和８年度 全国学力学習状況調査 児童質問紙(30)(31) 生徒質問紙(30)(31)	〇難しいと感じる問題に対しても、最後まであきらめずに取り組むことができる。 ●確実にできるようになるまで、くり返し練習することに課題が見られる。	☑ 基礎の習熟に対して、くり返し学習する大切さを伝え、授業や朝の時間等で、繰り返し学習する時間を意図的、計画的に設定する。	◇ ◆	
【工夫しながら進めること】 ＜関連項目＞ 学びに向かう力等に関する意識調査 調査票４（５）～（８） 令和８年度 全国学力学習状況調査 児童質問紙(20)(29) 生徒質問紙(20)(29)	〇テスト等で間違えたとき、その理由を考え、次に生かすことができる。 ●どうやったらうまくいくか考えてから学習を始めることができていない。	☑ 単元や１単位時間のゴールを確認し、どのようにして達成していくかを児童と一緒に考えたり、児童が自己選択、自己決定したりする。既習事項を想起したり、見通しをもつ場を設定したりする。	◇ ◆	
【対話しながら進めること】 ＜関連項目＞ 学びに向かう力等に関する意識調査 調査票４（９）～(12) 令和８年度 全国学力学習状況調査 児童質問紙(33)(37) 生徒質問紙(33)(37)	〇対話学習の大切さを理解し、人と相談しながら考えを深めようとしている。 ●意見がちがう相手の考えを深く知ろうとしたり、自分の考えを積極的に相手に伝えようとしたりする意識が低い。	☑ 対話しながら自分の考えをもつための時間や表現の場を確保する。学習者用コンピュータを活用して「思考の見える化」を進め、意見交流を促す。聞く態度を育て、聞く視点を提示する。	◇ ◆	
【理解しながら進めること】 ＜関連項目＞ 学びに向かう力等に関する意識調査 調査票４(13)～(16) 令和８年度 全国学力学習状況調査 児童質問紙(34) 生徒質問紙(34)	〇大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。 ●学習していてわからない言葉があった場合、すぐに調べる習慣が十分に身に付いていない。	☑ 学習者用コンピュータの活用を促したり、辞典をすぐに使える環境を整えたりする。調べたことを紹介する場を設ける。	◇ ◆	